

平成23年3月期
第2四半期決算説明資料

平成22年11月12日

 川重冷熱工業株式会社

平成23年3月期第2四半期決算概要

当第2四半期累計期間の当社の受注高は、空調事業の改修改造工事・メンテナンスの減少ならびにボイラ事業の機器本体・改修改造工事の減少により、前期比2億34百万円減少の98億61百万円となりました。売上高は、空調事業の機器本体の増加ならびにボイラ事業の機器本体・改修改造工事の増加により、前期比3億28百万円増加の76億20百万円となりました。

利益面では、諸費用の削減等に努めた結果、営業利益は、前期比64百万円増加の2億73百万円、経常利益は、前期比60百万円増加の2億71百万円となりました。ただ、当四半期純利益は、当社の関係会社である同方川崎空調設備有限公司(中国)の事業に係る特別損失として、出資金の評価損42百万円および同社に対する債権について引当金2億56百万円を計上したことにより、前期比2億9百万円減少の1億51百万円の四半期純損失となりました。

平成23年3月期第2四半期損益計算書 川重冷熱

金額単位：百万円（百万円未満切捨て）

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	備 考
売上高	7,291	7,620	104.5%	第2四半期決算の総括に記載の通り。
売上総利益	2,122	2,008	94.6%	
販売費及び一般管理費	1,913	1,735	90.7%	
営業利益	209	273	130.6%	
営業外収益	10	11	110.0%	
営業外費用	7	13	185.7%	
経常利益	211	271	128.4%	
特別損失	66	298	451.5%	関係会社に係る特別損失の計上による
税引前四半期純損益	145	26	-	
法人税等	87	125	143.7%	
四半期純損益	57	151	-	

平成23年3月期第2四半期貸借対照表 川重冷熱

資産の部

金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動資産	8,865	8,182	
現金及び預金	9	5	
受取手形・売掛金	6,463	5,544	前期末売上案件の入金による
棚卸資産	1,251	1,248	
繰延税金資産	343	343	
その他の流動資産	797	1,039	関係会社貸倒引当金の計上による
固定資産	3,423	3,320	
有形固定資産	1,718	1,672	
無形固定資産	260	243	
繰延税金資産	1,150	1,152	
投資その他の資産	293	251	
資産合計	12,289	11,503	

平成23年3月期第2四半期貸借対照表 川重冷熱

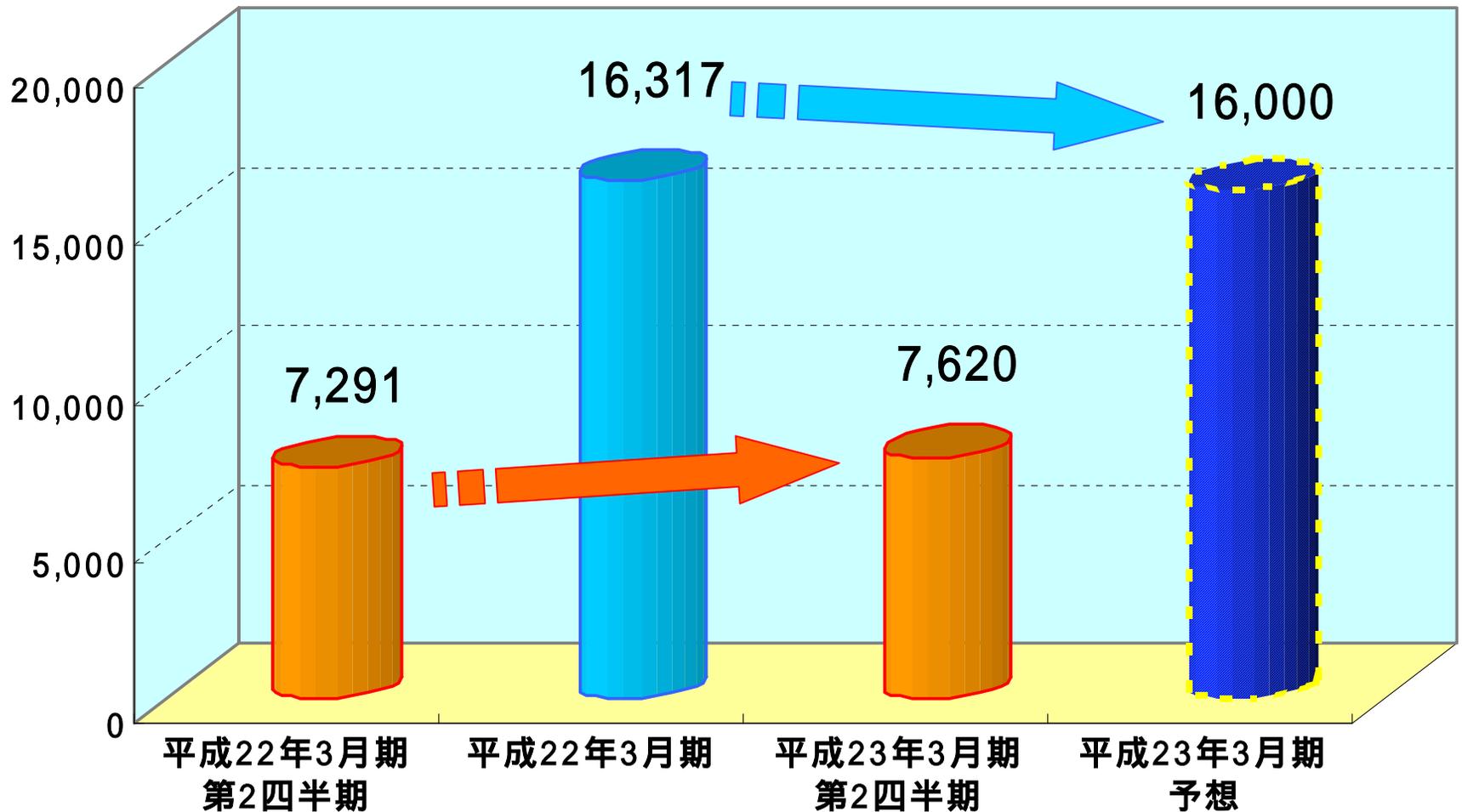
負債・純資産の部

金額単位：百万円（百万円未満切捨て）

	前第4四半期	当第2四半期	備 考
流動負債	5,328	4,800	
支払手形・買掛金	3,684	3,456	
未払法人税等	230	137	
その他の流動負債	1,413	1,206	受注損失引当金の減少による
固定負債	2,787	2,733	
退職給付引当金	2,676	2,637	
その他の固定負債	110	96	
負債合計	8,116	7,534	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,486	1,284	四半期純損失を計上したため
自己株式	15	15	
其他有価証券評価差額金	13	11	
純資産合計	4,173	3,968	
負債・純資産合計	12,289	11,503	

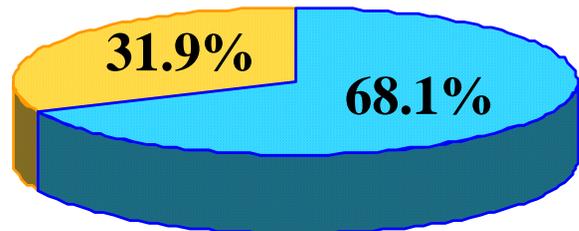
売上高の推移

(単位:百万円)



売上高構成比の比較

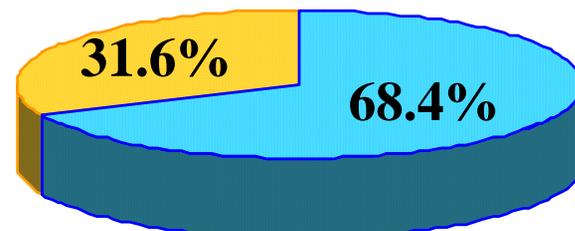
ボイラ事業



空調事業

平成22年3月期
第2四半期決算

ボイラ事業



空調事業

平成23年3月期
第2四半期決算

空調事業

機器本体の売上高は、大規模商業施設等で使用される大型吸収冷温水機の増加により、前年同期を上回りました。

改修改造工事・メンテナンスの売上高は、オーバーホール等の大口工事が、減少したことが影響し、前年同期を下回りました。

ボイラ事業

機器本体の売上高は、大型の炉筒煙管ボイラならびに大型貫流ボイラの増加により前年同期を上回りました。

改修改造工事・メンテナンスの売上高は、省エネ改造等の工事が減少したため、前年同期を下回りました。

平成23年3月期 業績予想

平成23年3月期の業績予想



金額単位：百万円(百万円未満切捨て)

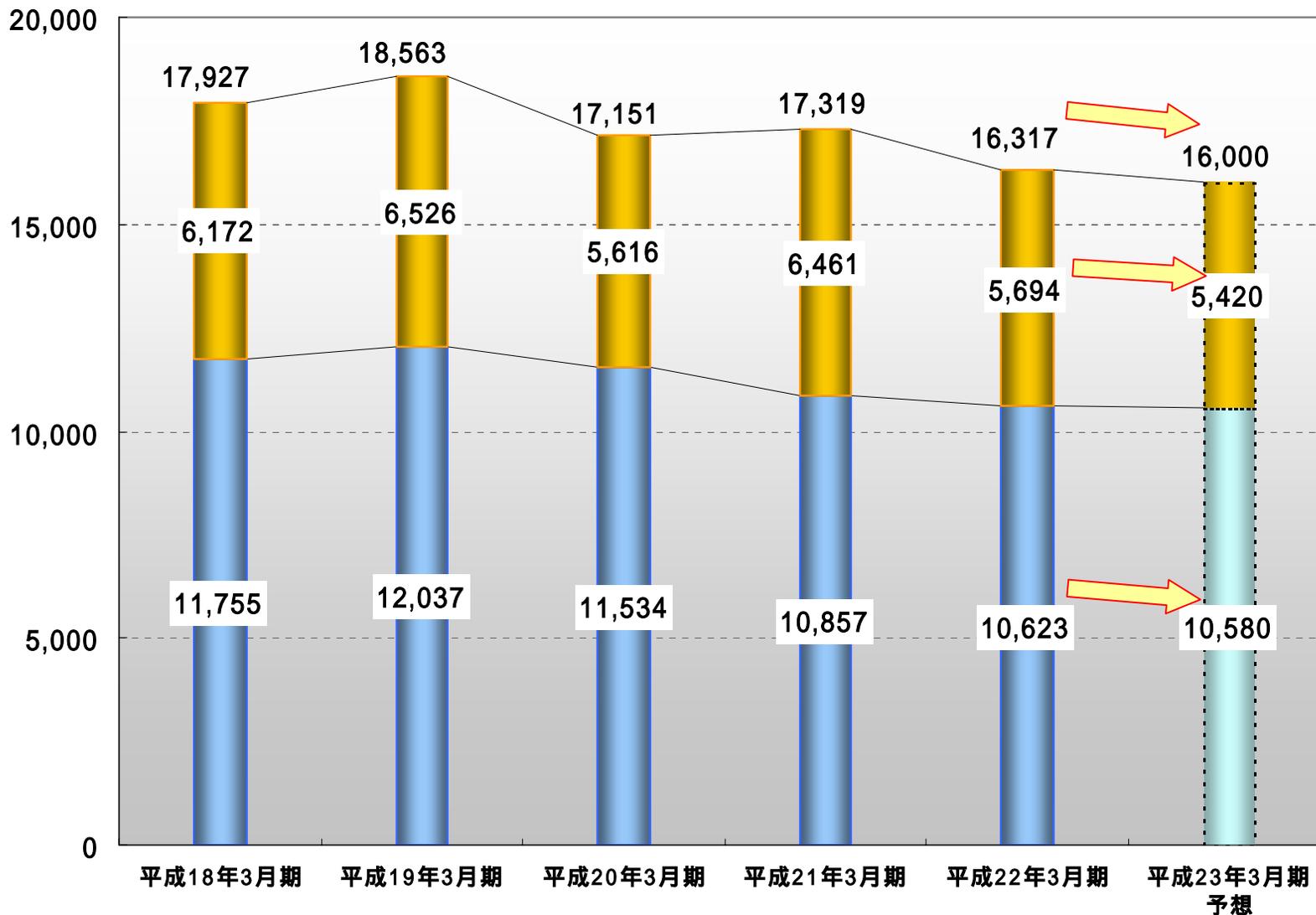
	前年同期	今期予想	前年同期比	備 考
売上高	16,317	16,000	98.1%	
空調事業	10,623	10,580	99.6%	
ボイラ事業	5,694	5,420	95.2%	
営業利益	610	315	51.6%	
経常利益	612	300	49.0%	
当期純利益	144	150	104.2%	

売上の推移(予想)

(単位:百万円)

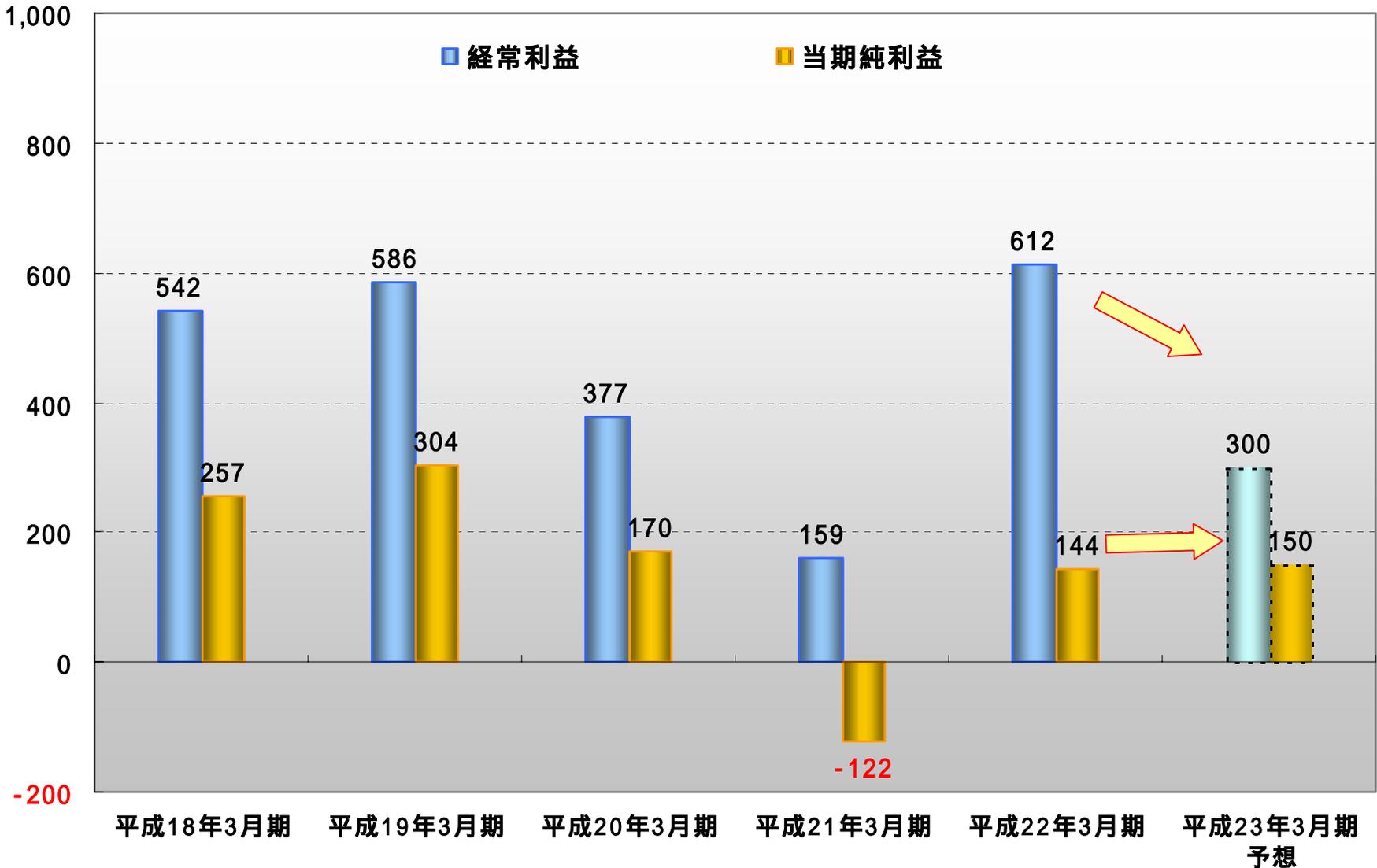
■ 空調事業

■ ボイラ事業



利益の推移(予想)

(単位:百万円)



空調事業

機器本体は、9月に市場投入した「シグマエース1.2Rシリーズ」をリプレースユーザーを中心にソリューション提案を行い、拡販に努めます。

また、中近東、欧州、南米などの海外で吸収冷温水機の需要が増加している国々に対しての営業強化にも努めます。

24時間遠隔監視のメンテナンスシステム「テレメンテ」の活用および省エネルギー提案を積極的に行い、引き続き改修改造工事・メンテナンスの拡大に努めます。

ボイラ事業

大型貫流ボイラ「イフリートビート」を中心とした機器ラインナップに加え、大型貫流ボイラで初めて開発に成功した「VOC燃焼システム」等の製品を提供し、拡販に努めます。

改修改造工事・メンテナンスは、引き続き、省エネルギー改造を中心とした工事増ならびに年間保守契約の獲得向上に努めます。

参 考

当社は、「エクセレントカンパニーの構築」を目指し、顧客ニーズにあった商品を業界一級の技術で提供することにより適正利益を確保し、株主には適正な配当を行うとともに従業員および全事業従事者のために人間性豊かでゆとりのある業務遂行と暮らしを創造し続けながら、社会に貢献することを経営の基本方針としております。

当社の関連する空調業界では、環境性を考えて今後も省エネルギーおよび余剰エネルギーを有効利用する機器の開発が活発化していくものと思われます。

ボイラ業界では、貫流ボイラを中心とした市場構造には変化がないと思われます。

空調・ボイラ業界共に総需要は、景気に左右される傾向があり、新規需要に代わり、リプレース需要の増加が進んでおります。

本資料に関する問合せ



川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。